

令和8年度 第1回 花川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月18日（月） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 花川小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 佐々木 豊、武田 弘秋、佐々木 聰、田中 朋子、高倉 絹子、
和田 秀雄、高倉 毅文、松下 悠里、北村 智子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 新田 浩一（花川町自治会長）、岡埜谷 幸孝（西丘町自治会長）、
鈴木 克隆（北部協働センター）
- 6 学 校 二橋 久美子（校長）、中村 敦（教頭）、伊代田 和隆（教務）、
中村 好明（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 好明

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木聰委員から佐々木豊委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選出された佐々木豊委員から、武田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木聰委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営に関する基本的な方針の確認について
- （2）いじめ防止等のための基本方針について
- （3）学校支援活動計画について
- （4）「夢育やらまいか事業に対する意見書」について

12 会議記録

司会の中村（教頭）から、委員総数9人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営に関する基本的な方針の確認について

議長の指示により、二橋（校長）から、別紙資料に基づき学校運営に関する基本的な方針の確認について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ スライドはイメージが湧き、大変分かりやすかった。このスライドはだれのために作ったのか。（佐々木聰委員）
- ・ 前の校長が保護者用にAIを使って作った。それをこの会議用に修正した。（二橋（校長））
- ・ 自分も小規模校で育った。良かったことはその他1名にならなかったこと。必ず自分の意見を言わなければいけない。これからの人たちには、自分の意見を言う、他人の意見も聞

くことができるようになってくれるといい。(佐々木豊委員)

- ・ スライドは、保護者会の時にも見せていただいたが、保護者にとっても分かりやすかった。(北村委員)
- ・ 家では与えてあげられないものを、小学校で与えられてもらっていると思う。(松下委員)
- ・ 子供がこの小学校の出身である。自分から進んでやらない子だったが、小学校ではやらなければならなかったのが、本人は自信がついた。(高倉絹子委員)
- ・ 小規模校の良さを取り入れて欲しい。(和田委員)
- ・ 地域の活動や、ボランティアで学校に来てくれたおじいさんおばあさんに声を掛けられた経験が、子供にとってはうれしいことである。その逆に、声を掛けられた子供が声を掛けてくれるとおじいさんやおばあさんはもっとうれしい。両方育って行って欲しい。(佐々木豊委員)
- ・ 子供は、中学校へ行って大規模校の経験をしている。少しは苦労をしているが、それを乗り越えようとしている。(田中委員)
- ・ 子供には心が強くなって欲しい。100%うまくいくことはないので、失敗したことを次に生かしていけるような子供になって欲しい。(高倉毅文委員)
- ・ 今年の中学校の入学式に出席した。197名の代表として花川小の卒業生がスピーチをしていた。自信を持っていけばいいと思う。(岡埜谷(西丘町自治会長))
- ・ いろいろな会合で、いじめをなくそうと言われるが、いじめの定義がよく分からないところがある。(新田(花川町自治会長))
- ・ グランドデザインを子供たちに伝えているか。(岡埜谷(西丘町自治会長))
- ・ 学校の行事等で、その行事にあったものをピックアップして指導している。(二橋(校長))

(2) いじめ防止等のための基本方針について

議長の指示により、中村(教頭)から、別紙資料に基づきいじめ防止等のための基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ パワハラやセクハラがよく言われた時、会社などでは、会話がなくなった。業務連絡しかしなくなった。人と生活していればいやなことがあるのは当たり前で、それをうまく流せる体力をつけさせていきたい。(佐々木豊委員)
- ・ 大人から隠してしまういじめを見て欲しい。(武田委員)
- ・ いじめは難しい問題ではあるが、学校任せにしないことが大切ではないか。(北村委員)
- ・ 子供たちの中での言葉遣いは、親はびっくりするが、子供たちにとっては当たり前のことであったりする。(松下委員)
- ・ 言葉遣いは、親がラインを引いて、見ていくことが大切である。(佐々木豊委員)
- ・ 孫が友達ともめたことがあったが、先生が対応してくれた。この学校は先生の存在が近いのが良かった。(高倉毅文委員)
- ・ いろいろなトラブルはあると思うが、それを自力で解決できる力をつけて行って欲しい。(田中委員)
- ・ 得手不得手、好き嫌いがあったりすることでいじめに発展していくこともある。(武田委員)

- ・ 昔聞いた話で、子供が判断に迷った時、お母さんに話ができるかで判断しなさいと言われた。(佐々木豊委員)
- ・ 目に見えないいじめをしっかりと見て行って欲しい。(岡埜谷(西丘町自治会長))
- ・ 忍耐力は大切だと思う。グループエンカウンター、レジリエンスとはなにか。(鈴木(北部協働センター))
- ・ レジリエンスは、困難をしなやかに乗り越え回復する力である。自分のよい所に気付かせる。エンカウンターは、いろいろな仲間との人間関係作りである。(伊代田(教務))

(3) 学校支援活動計画について

司会の指示により、佐々木聡委員から、別紙資料に基づき学校支援活動計画について説明があり、目的・内容共に理解した。

(4) 「夢育やらまいか事業に対する意見書」について

司会の指示により、中村(教頭)から、別紙資料に基づき「夢育やらまいか事業に対する意見書」について説明があり、目的・内容共に理解した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和8年7月30日(木)午後2時から2階会議室で開催する旨の報告があった。